

## 目 次

序

目 次

1 調査の概要	3
2 十字廊の歴史と既往の成果	
(1) 薬師寺の創建と十字廊の歴史	4
(2) 既往の発掘調査	5
3 検出遺構	
(1) 調査前の地形と基本層序	6
(2) 十字廊の遺構	9
(3) 十字廊と同時期と考えられる周辺の遺構	13
(4) 十字廊建立以後の遺構	15
4 出土遺物	
(1) 瓦埴類	17
(2) 土器・土製品	20
(3) 金属製品等	22
5 結 語	
(1) 薬師寺十字廊の建築	23
(2) 十字廊の造営と廃絶の年代	24
(3) 十字廊周辺の様相	24
(4) 他の寺院との比較	25

報告書抄録

## 例 言

1. 本書は薬師寺旧境内保存整備事業にともなう平成25年度の発掘調査概要報告書である。
2. 調査は法相宗大本山薬師寺の委託を受けた独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 都城発掘調査部（平城地区）が、平成25年9月17日から平成26年2月28日にかけて実施した。
3. 調査は、箱崎和久・馬場 基・小田裕樹・庄田慎矢が担当し、三好勇太が参加した。また、石材の鑑定には脇谷草一郎、金属製品の材質分析には田村朋美、木材の年輪年代測定には星野安治・児島大輔があたった。
4. 調査にあたっては、文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会の協力を得た。
5. 本調査は、都城発掘調査部（平城地区）の平城第519次調査として実施したもので、各遺構には平城京右京における調査基準にしたがい一連の番号を付した。発掘遺構図の座標値は、世界測地系（平面直角座標系第Ⅵ系）による。
6. 本書の作成は、副所長・小野健吉の指導のもと調査員全員であたり、全体の討議を経ておこなった。編集は庄田慎矢が担当した。各項目の執筆については、4（1）を石田由紀子、4（2）を小田裕樹、その他を庄田慎矢が担当した。
7. 遺構・遺物の写真は、中村一郎・栗山雅夫・鎌倉 綾が撮影した。
8. 表紙題字は薬師寺山田法胤管主の手によるものである。